

説明文書別添：JSCT MM20 臨床研究 共同研究実施医療機関および研究責任医師一覧

2023年9月1日 作成

研究実施機関	所属部署	職名	研究責任医師	住所	電話番号
九州大学病院	遺伝子・細胞療法部	講師	菊繋 吉謙	福岡市東区馬出3-1-1	092-642-5230
愛育病院	血液内科	部長	泉山 康	札幌市中央区南4条西25-2-1	011-563-2211
市立札幌病院	血液内科	部長	山本 聡	札幌市中央区北11条西13丁目1-1	011-726-2211
市立旭川病院	血液内科	診療部長	柿木 康孝	旭川市金星町1-1-65	0166-24-3181
仙台医療センター	血液内科	医長	勝岡 優奈	仙台市宮城野区宮城野2-11-12	022-293-1111
宮城県立がんセンター	血液内科	医療部長	原崎 頼子	名取市愛島塩手字野田山47-1	022-384-3151
新潟大学医歯学総合病院	血液内科	病院教授	瀧澤 淳	新潟市中央区旭町通1番町	025-368-9026
新潟県立新発田病院	血液内科	部長	黒田 裕行	新発田市本町1-2-8	0254-22-3121
群馬大学医学部附属病院	血液内科	診療科長	半田 寛	前橋市昭和町3-39-15	027-220-8166
伊勢赤十字病院	血液内科	部長	藤枝 敦史	伊勢市船江1-471-2	0596-28-2171
済生会中津病院	血液内科	医員	荒木 拓	大阪市北区芝田2-10-39	06-6372-0333
大阪国際がんセンター	血液内科	主任部長	石川 淳	大阪市中央区大手前3-1-69	06-6945-1181
近畿大学病院	血液・膠原病内科	診療部長・教授	松村 到	大阪狭山市大野東377-2	072-366-0221
関西医科大学附属病院	血液腫瘍内科	准教授	佐竹 敦志	枚方市新町2-3-1	072-804-2503
和歌山県立医科大学附属病院	血液内科	講師	細井 裕樹	和歌山市紀三井寺811-1	073-441-0665
天理よろづ相談所病院	血液内科	部長	赤坂 尚司	天理市三島町200	0743-63-5611
近江八幡市立総合医療センター	内科	主任部長	高橋 良一	近江八幡市土田町1379	0748-33-3151
京都府立医科大学附属病院	血液内科	教授部長	黒田 純也	京都市上京区河原町通広小路上ル 梶井町465	075-251-5111
金沢大学附属病院	血液内科	教授	高松 博幸	金沢市宝町13-1	076-265-2276
富山大学附属病院	血液内科	講師	和田 暁法	富山市杉谷2630	076-434-7301

兵庫県立がんセンター	血液内科	部長	村山 徹	明石市北王子町 13-70	078-929-1151
広島大学病院	血液内科	診療科長	一戸 辰夫	広島市南区霞 1-2-3	082-257-5555
岡山市立市民病院	血液内科	部長	吉田 親正	岡山市北区北長瀬表町 3-20-1	086-737-3000
徳島県立中央病院	血液内科	医療局次長	尾崎 修治	徳島市蔵本町 1-10-3	088-631-7151
原三信病院	血液内科	部長	上村 智彦	福岡市博多区大博町 1-8	092-291-3434
福岡赤十字病院	血液腫瘍内科	部長	谷本 一樹	福岡市南区大楠 3-1-1	092-521-1211
九州がんセンター	血液・細胞治療科	医長	崔 日承	福岡市南区野多目 3-1-1	092-541-3231
福岡大学病院	腫瘍・血液・感染症内科	診療部長	高松 泰	福岡市城南区七隈 7-45-1	092-801-1011
北九州市立医療センター	内科	副院長	大野 裕樹	北九州市小倉北区馬借 2-1-1	093-541-1831
JCHO 九州病院	血液内科	診療部長	小川 亮介	北九州市八幡西区岸の浦 1-8-1	093-641-5111
産業医科大学病院	血液内科	診療科長	塚田 順一	北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1	093-691-7435
久留米大学病院	血液・腫瘍内科	診療科長・教授	長藤 宏司	久留米市旭町 67	0942-31-7852
佐賀県医療センター好生館	血液内科	部長	吉本 五一	佐賀市嘉瀬町大字中原 400	0952-24-2171
大分大学医学部附属病院	血液内科	科長	緒方 正男	由布市挾間町医大ヶ丘 1-1	097-586-6275
宮崎県立宮崎病院	血液科	医長	河野 徳明	宮崎市北高松町 5-30	0985-24-4181
今村総合病院	血液内科	主任部長	伊藤 能清	鹿児島市鴨池新町 11-23	099-251-2221
市立函館病院	血液内科	輸血・細胞治療 センター長	堤 豊	函館市港町 1-10-1	0138-43-2000
秋田大学医学部附属病院	血液内科	助教	池田 翔	秋田市広面字蓮沼 44-2	018-884-6116
福島県立医科大学附属病院	血液内科	診療科部長・教 授	池添 隆之	福島市光が丘 1	024-547-1423
渋川医療センター	血液内科	医長	入内島 裕乃	渋川市白井 383	0279-23-1010
埼玉医科大学総合医療センター	血液内科	教授	多林 孝之	川越市鴨田 1981	049-228-3471
北野病院	血液内科	主任部長	北野 俊行	大阪市北区扇町 2-4-20	06-6312-1221

京都鞍馬口医療センター	血液内科	内科部長	淵田 真一	京都市北区小山下総町 27	075-441-6101
金沢医科大学病院	血液免疫内科	教授	水田 秀一	河北郡内灘町大学 1-1	076-286-3511
広島西医療センター	血液内科	医長	黒田 芳明	大竹市玖波 4-1-1	0827-57-7151
山口大学医学部附属病院	血液内科/輸血部	講師	中邑 幸伸	宇部市南小串 1-1-1	0836-22-2753
島根大学医学部附属病院	内科学第三	助教	高橋 勉	出雲市塩冶町 89-1	0853-20-2308
岡山医療センター	血液内科	臨床研究部長	角南 一貴	岡山市北区田益 1711-1	086-294-9911
松山赤十字病院	血液内科	副院長	藤崎 智明	松山市文京町 1 番	089-924-1111
浜の町病院	血液内科	部長	衛藤 徹也	福岡市中央区長浜 3-3-1	092-721-0831
済生会福岡総合病院	血液内科	主任部長	齋藤 統之	福岡市中央区天神 1-3-46	092-771-8151
九州医療センター	血液内科	科長	高瀬 謙	福岡市中央区地行浜 1 丁目 8-1	092-852-0700
聖マリア病院	血液内科	副院長	今村 豊	久留米市津福本町 422	0942-35-3322
北海道大学病院	血液内科	診療科長・教授	豊嶋 崇徳	札幌市北区北 15 条西 7 丁目	011-706-7214
札幌北楡病院	血液内科	診療部長	太田 秀一	札幌市白石区東札幌六条 6-5-1	011-865-0111
愛知医科大学病院	血液内科	医師	水野 昌平	長久手市岩作雁又 1 番地 1	0561-62-3311
京都第二赤十字病院	血液内科	部長	魚嶋 伸彦	京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5	075-231-5171
富山県立中央病院	血液内科	部長	近藤 恭夫	富山市西長江 2-2-78	076-424-1531
愛媛県立中央病院	血液内科	主任部長	名和 由一郎	松山市春日町 83	089-947-1111
大分県立病院	血液内科	部長	大塚 英一	大分市豊饒 476	097-546-7111
筑波記念病院	血液内科	医員	渡邊 真威	つくば市要 1187-299	029-864-1212
愛媛大学医学部附属病院	血液・免疫・感染症内科	診療科長	竹中 克斗	東温市志津川	089-960-5296
練馬光が丘病院	血液内科	特命副病院長	竹迫 直樹	練馬区光が丘 2-11-1	03-3979-3611
小松市民病院	血液内科	医長	青木 剛	小松市向本折町木 60	0761-22-7111

恵寿金沢病院	血液疾患・骨髄腫センター	科長	村田 了一	金沢市下新町 6-26	076-220-9192
石川県立中央病院	血液内科	診療部長・科長	山口 正木	金沢市鞍月東 2-1	076-237-8211
富山赤十字病院	血液内科	部長	黒川 敏郎	富山市牛島本町 2-1-58	076-433-2222
中国中央病院	血液内科	医長	石川 立則	福山市御幸町大字上岩成 148-13	084-970-2121
浜田医療センター	血液内科	非常勤医師	高橋 勉	浜田市浅井町 777-12	0855-25-0505
宮崎大学医学部附属病院	血液内科	教授	下田 和哉	宮崎郡清武町木原 5200	0985-85-1510
岐阜市民病院	血液内科	部長	笠原 千嗣	岐阜市鹿島町 7-1	058-251-1101
京都第一赤十字病院	血液内科	部長	内山 人二	京都市東山区本町 15-749	075-561-1121
南相馬市立総合病院	血液内科	主任科長	奥村 廣和	南相馬市原町区高見町 2 丁目 54-6	0244-22-3181

2 0 2 2 年 1 1 月 8 日作成

### 1. この臨床研究の資金

この臨床研究は、九州大学とヤンセンファーマ株式会社との間で「医師主導臨床研究に関する契約」を結んで実施されます。この臨床研究に関する必要な費用は、契約にもとづき、ヤンセンファーマ株式会社から出資された研究費でまかなわれます。この臨床研究では、ヤンセンファーマ株式会社が製造・販売する製剤(ダラツムマブ：商品名：ダラザレックス/ダラキューロ)を用いて行なわれますが、ヤンセンファーマ株式会社はデータの収集・解析には全く関わらないため、このことが研究結果に影響を与える状況にはなく、この臨床研究実施の透明性や結果の信頼性が損なわれることはありません。

### 2. 研究代表医師の利益相反管理

研究代表医師である九州大学病院 遺伝子・細胞療法部 菊繁 吉謙は、この臨床研究で申告すべき利益相反関係が無いことを、所属機関の管理者が事実確認を行い、利益相反管理計画を作成し認定臨床研究審査委員会で審査・承認を受けています。

### 3. 研究責任医師・研究分担医師等の利益相反管理

研究責任医師・研究分担医師・研究総括者・統計解析担当責任者は、この臨床研究で申告すべき利益相反関係の有無を、所属機関の管理者が事実確認を行い、利益相反管理計画を作成し認定臨床研究審査委員会で審査・承認を受けています。

以下が、この臨床研究の2022年度の利益相反状況となります。

- ・研究総括者である九州大学大学院医学研究院 病態修復内科学の赤司浩一は、この臨床研究に用いるフィルグラスチム製剤を製造販売している協和キリン株式会社より、年間200万円以上の奨学寄附を病態修復内科学講座に、この臨床研究に用いるレノグラスチム製剤を製造販売している中外製薬株式会社より、年間200万円以上の奨学寄附を病態修復内科学講座に受けています。また、この臨床研究に用いるフィルグラスチム製剤を製造販売している協和キリン株式会社より、年間100万円以上の講演料を受け取っています。
- ・近畿大学病院 血液内科の研究責任医師である松村到は、この臨床研究に用いるフィルグラスチム製剤を製造販売している協和キリン株式会社より、年間200万円以上の奨学寄附を血液内科学講座に、この臨床研究に用いるレノグラスチム製剤を製造販売している中外製薬株式会社より、年間200万円以上の奨学寄附を血液内科学講座に受けています。また、この臨床研究に用いるダラツムマブ製剤を製造販売しているヤンセンファーマ株式会社より、年間100万円以上の講演料等を、この臨床研究に用いるカルフィルゾミブ製剤を製造販売している小野薬品工業株式会社より、年間100万円以上の講演料等を受け取っています。
- ・関西医科大学附属病院 血液腫瘍内科の研究分担医師である伊藤量基は、この臨床研究に用いるレナリドミド水和物製剤・デキサメタゾン製剤を製造販売しているブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社より、年間100万円以上の講演料等を、この臨床研究に用いるプレリキサホル製剤を製造販売しているサノフィ株式会社より、

年間100万円以上の講演料等を受け取っています。

- ・京都府立医科大学附属病院 血液内科の研究責任医師である黒田 純也は、この臨床研究に用いるダラツムマブ製剤を製造販売しているヤンセンファーマ株式会社より、年間100万円以上の講演料等を、この臨床研究に用いるレナリドミド水和物製剤・デキサメタゾン製剤を製造販売しているプリストル・マイヤーズスクイブ株式会社より、年間100万円以上の講演料等を、この臨床研究に用いるプレリキサホル製剤を製造販売しているサノフィ株式会社より、年間100万円以上の講演料等を受け取っています。
- ・金沢大学附属病院 血液内科の研究責任医師である高松博幸は、この臨床研究に用いるダラツムマブ製剤を製造販売しているヤンセンファーマ株式会社より、年間100万円以上の講演料等を受け取っています。
- ・金沢大学附属病院 血液内科の研究分担医師である宮本敏浩は、この臨床研究に用いるダラツムマブ製剤を製造販売しているヤンセンファーマ株式会社より、年間100万円以上の講演料等を受け取っています。
- ・原三信病院 血液内科の研究責任医師である上村智彦は、この臨床研究に用いるダラツムマブ製剤を製造販売しているヤンセンファーマ株式会社より、年間100万円以上の講演料等を受け取っています。
- ・久留米大学病院 血液・腫瘍内科の研究責任医師である長藤宏司は、この臨床研究に用いるフィルグラスチム製剤を製造販売している協和キリン株式会社より、年間200万円以上の奨学寄附を血液・腫瘍内科学講座に受けています。
- ・島根大学医学部附属病院 血液内科の研究分担医師である鈴木律朗は、この臨床研究に用いるレノグラスチム製剤を製造販売している中外製薬株式会社より、年間100万円以上の講演料等を受け取っています。
- ・独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 血液内科の研究責任医師である角南一貴は、この臨床研究に用いるレナリドミド水和物製剤・デキサメタゾン製剤を製造販売しているプリストル・マイヤーズスクイブ株式会社より、年間100万円以上の講演料等を、この臨床研究に用いるプレリキサホル製剤を製造販売しているサノフィ株式会社より、年間100万円以上の講演料等を受け取っています。
- ・北海道大学病院 血液内科の研究責任医師である豊嶋崇徳は、この臨床研究に用いるフィルグラスチム製剤を製造販売している協和キリン株式会社より、年間200万円以上の奨学寄附を血液内科学講座に、この臨床研究に用いるレノグラスチム製剤を製造販売している中外製薬株式会社より、年間200万円以上の奨学寄附を血液内科学講座に受けています。また、この臨床研究に用いるレナリドミド水和物製剤・デキサメタゾン製剤を製造販売しているプリストル・マイヤーズスクイブ株式会社より、年間100万円以上の講演料等を受け取っています。
- ・北海道大学病院 血液内科の研究分担医師である後藤秀樹は、この臨床研究に用いるレナリドミド水和物製剤・デキサメタゾン製剤を製造販売しているプリストル・マイヤーズスクイブ株式会社より、年間200万円以上の奨学寄附を血液内科学講座に受けている。また、この臨床研究に用いるレノグラスチム製剤を製造販売している中外製薬株式会社より、年間100万円以上の講演料等を受け取っている。
- ・社会医療法人財団董仙会恵寿金沢病院 内科の研究分担医師である高松博幸は、この臨床研究に用いるダラツムマブ製剤を製造販売しているヤンセンファーマ株式会社より、年間100万円以上の講演料等を受け取っています。

以上